

JpGU Meeting 2013

Japan Geoscience Union Meeting, May 19-24, Makuhari Messe



日本地球惑星科学連合 2013年大会

5月19日(日)～24日(金) 幕張メッセ国際会議場

Exhibition

<http://www.jpgu.org/meeting/>

■ 主 催 ■

公益社団法人日本地球惑星科学連合

■ 協 賛 ■

日本高圧力学会 日本サンゴ礁学会 日本大気電気学会 日本天文学会 (予定含む)

■ 後 援 ■

日本学術会議 文部科学省 国土交通省国土地理院 国土交通省気象庁気象研究所 国土交通省気象庁地磁気観測所 国土交通省海上保安庁海洋情報部 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部 宇宙航空研究開発機構 海洋研究開発機構 科学技術振興機構 日本科学未来館 建築研究所 国立科学博物館 国立環境研究所 産業技術総合研究所 情報通信研究機構 森林総合研究所 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 土木研究所 日本原子力研究開発機構 農業環境技術研究所 農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所 物質・材料研究機構 防災科学技術研究所 理化学研究所 国立教育政策研究所 高エネルギー加速器研究機構 自然科学研究機構国立天文台 情報・システム研究機構国立極地研究所 情報・システム研究機構統計数理研究所 資源・環境観測解析センター 地震予知総合研究振興会 地球環境産業技術研究機構 電力中央研究所 日本宇宙フォーラム 日本地図センター 深田地質研究所 全国地質調査業協会連合会 電子情報通信学会 東京都地質調査業協会 日本機械学会 日本航空宇宙学会 日本測量協会 日本分析機器工業会 (予定含む)

JpGU Meeting 2013 Exhibition

開催にあたって

日本地球惑星科学連合大会は、1990年から毎年春に開催され、2013年大会で24回目を迎えます。分野、学協会、地域、年代の枠を超えた議論の実現をはかることで、高度に専門化された諸研究分野の成果の上に成り立つ総合科学としての「地球惑星科学」の研究発表の場、情報交換の場として発展し続けております。参加者数は2012年大会では7300人あまりとなり、国内のみならず米国AGU、欧洲EGUに次ぐ世界第3位の規模世界有数の学術大会となっています。

本展示企画は、年に1度、日本において地球惑星科学コミュニティが集結するこの華やかな学術交流の舞台において、学術発表のみならず、地球惑星科学に関するあらゆる情報・トレンドの発信を目指しております。

皆様の持てる実力を遺憾なく発信できる千載一遇の機会であり、企業活動のグローバルな展開のための大きなチャンスの場として是非ご活用ください。

- 地球惑星関連科学の研究プロジェクトの積極的な情報公開・交流
- 関連企業の製品紹介・広報宣伝、積極的な人材交流、人材開発
- 関連大学の積極的な情報公開・人材募集……etc

多く皆様の加をお待ちしております。

開催概要

名 称：日本地球惑星科学連合 2013年大会展示企画

会 期：2013年5月19日（日）～24日（金）

会 場：幕張メッセ国際会議場 1Fおよび2F

主 催：公益社団法人日本地球惑星科学連合

展示規模：103ブース募集（2012年大会実績104）

	募集数	2012年実績
団体展示	44ブース	45ブース(41団体)
書籍出版・関連商品展示	29ブース	28ブース(23団体)
学協会個別デスク展示	10ブース	10ブース(9団体)
大学インフォパネル展示	10ブース	13ブース(13大学)
パンフレットデスク展示	10ブース	8ブース(8団体)

来場者数：5800名 予定（2012年大会実績7318名、金環イベント参加者含む）

出展プラン・料金

様々なプランをご用意しております。用途・目的に合わせて、より有効なエリアを下記よりご選択ください。

展示プラン	展示エリア	出展料	展示内容
団体展示	2F 中央ロビー	30万円	地球惑星関連科学の研究プロジェクトの積極的な情報公開・交流が行えます 製品紹介、広報宣伝、人材交流・人材開発の場として利用できます 関連大学教室に対し、積極的な研究発表、情報公開、人材（学生・研究者）募集が行えます
大学インフォメーション展示	2F 中央ロビー 入口	7万円	大学や学科・専攻、大学の研究室単位でのアピールの場を提供します 地球惑星科学に関する研究や大学・大学院の紹介、広報宣伝、オープンキャンパス告知、人材交流等ご利用いただけます
パンフレットデスク展示（A）	2F ポスター会場	10万円	ポスター会場にパンフレット配置用のスペースと、配布・案内用の方のためのイスをご用意いたします
パンフレットデスク展示（B）	2F ポスター会場	3万円	ポスター会場にパンフレット配置用のスペースをご用意いたします (※説明員が立つことはできません) 製品紹介・イベント案内・活動広報などご利用いただけます パンフレットは参加者が自由に手に取ることができます
書籍出版・ 関連商品展示	1F ラウンジ	5万円	出版社・書店などによる書籍販売、および地球惑星科学に関連する商品販売等を行えます
学協会エリア展示	1F テラス	3万円～ 4万円 (団体会員以外)	地球惑星関連科学に関連する学協会の皆様の情報発信・情報交換の場を提供いたします 活動内容・所属会員様への連絡・新規会員募集など、ご自由にご利用いただけます

展示スケジュール

期 間：

5月19日(日)～24日(金)

(期間内であれば展示時間は自由)

設 営： 19日(日) 09:30～12:00

展示時間： 19日(日) 12:00～18:00

20日(月)～23日(木) 09:30～18:00

24日(金) 09:30～15:30

撤 去： 24日(金) 15:30～17:00

Japan Geoscience Union JpGU Meeting 2013 Exhibition

申込方法

大会ホームページ「出展者の方へ」の「[出展のお申込み](#)」ページの専用お申込フォームより受付いたします。

「[出展のお申込み](#)」ページ

<http://www.jpgu.org/meeting/exhibition/application.html>

出展料のお支払い

請求書を3月20日ごろまでに郵送いたします。ご確認の上、2013年4月19日(金)までに指定口座へお振り込みください。ご都合の悪い場合や、校費払いなど特別な手続きや書式をご希望される場合は、事務局までお知らせ下されば対応いたします。

出展取り消し

原則として、申込受理後はお受けできません。やむを得ぬ場合は書面にて事務局までお申し出下さい。承認後下記キャンセル料を申し受けますので予めご了承下さい。

3月31日(日)まで	出展料の50%
4月1日(月)以降	ご返金はありません

お問い合わせ・連絡先

公益社団法人日本地球惑星科学連合 事務局

〒113-0032

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階

TEL : 03-6914-2080 FAX : 03-6914-2088

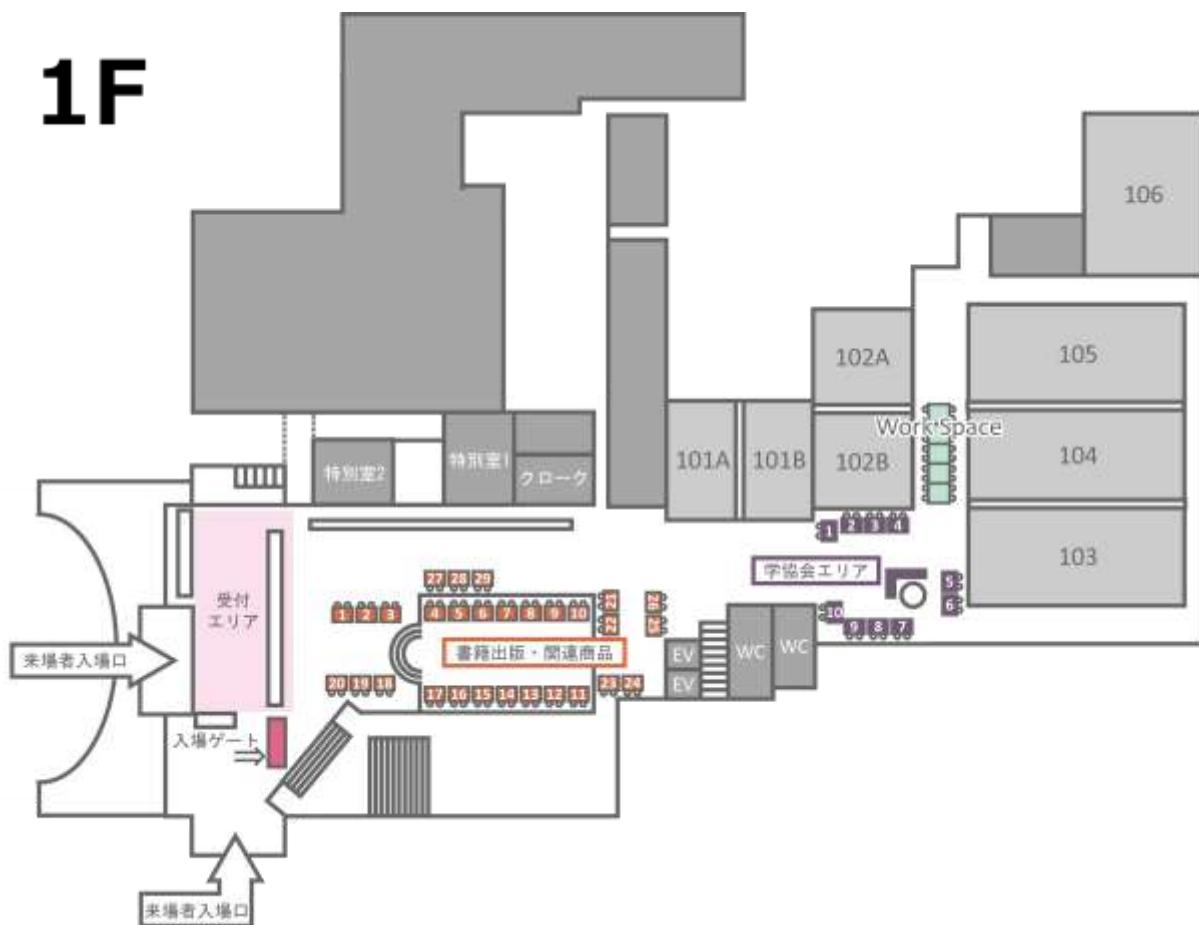
Email: office@jgu.org

<http://www.jgu.org/meeting/>

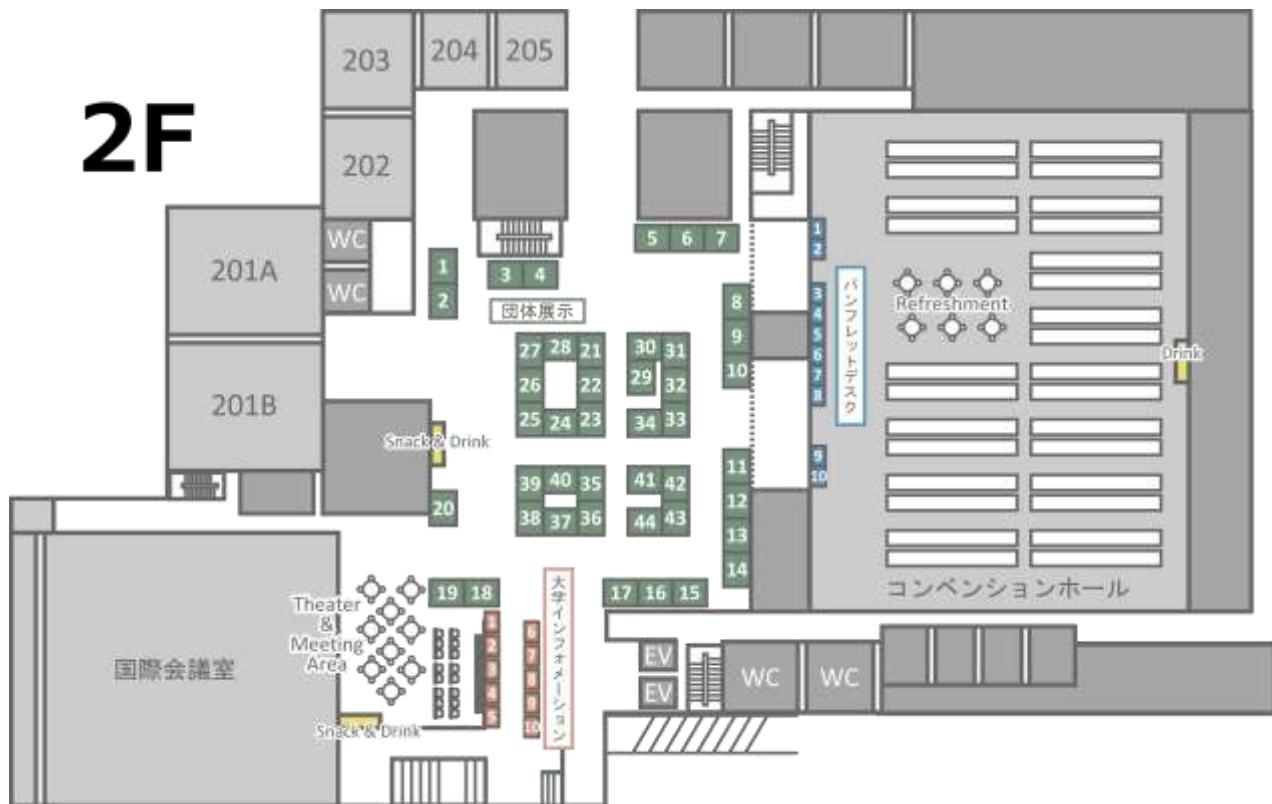


フロア図

1F



2F



Japan Geoscience Union

JpGU Meeting 2012 Exhibition

2012年情報

■出展関係

団体展示

株式会社aLab
Exelis VIS 株式会社
エスアイアイ・ナノテクノロジー
株式会社 NTT ドコモ
応用地震計測株式会社
オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
株式会社 計測技研
三洋貿易株式会社
株式会社ジオシス
測位衛星技術株式会社
株式会社 地球科学総合研究所
日本エフー・アイ株式会社
白山工業株式会社
PTT 株式会社
株式会社マイクロサポート
株式会社リガク
Integrated Ocean Drilling Program (IODP)
国立天文台 ALMA 望遠鏡プロジェクト
新学術領域研究「超深度掘削が拓く海溝型巨大地震の新しい描像」
大学間連携プロジェクト「超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究」

太陽観測衛星「ひので」プロジェクト
東北大学グローバル COE プログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」
名古屋大学グローバル COE「宇宙基礎原理の探求」
日本学術会議 国際対応分科会 SCOSTEP 小委員会
愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター
独立行政法人海洋研究開発機構
高知アセンター
気象庁
京都大学大学院教育プログラム
産業技術総合研究所地質調査総合センター
独立行政法人 情報通信研究機構
地学・地理オリンピック
東京大学地震研究所
東京大学大気海洋研究所
東京地学協会
東北大学地震・噴火予知研究観測センター
名古屋大学太陽地球環境研究所
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所
独立行政法人 防災科学技術研究所
European Geosciences Union

書籍出版展示

株式会社 ActoW
株式会社 朝倉書店
エルゼビア・ジャパン株式会社
恒星社厚生閣
京都大学学術出版会
共立出版株式会社
ケンブリッジ大学出版局
古今書院
シュプリングラー・ジャパン株式会社
地学団体研究会
テラバブ
(財)東京大学出版会
株式会社 東信堂
株式会社ナノオプトニクス・エナジー
株式会社ニホン・ミック
株式会社ニュートリノ
ワイリー・ブラックウェル

パンフレットデスク展示

アジア航測株式会社
株式会社 近計システム
ジャスコインタナショナル株式会社
株式会社地球科学研究所
日本アビオニクス販売株式会社
株式会社パレオ・ラボ
北極環境研究コンソーシアム
ローグウェーブ ソフトウェア ジャパン株式会社

関連商品展示

有限会社海猫屋
(株)テラハウス
布引焼窯元
(有)北辰光器製作所
ホリミネラロジー ミネラルショップ
(株)渡辺教具製作所

大学インフォメーションパネル展示

会津大学
大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻
岡山大学地球物質科学研究センター
鹿児島大学大学院理工学研究科地球環境科学専攻
金沢大学自然システム学専攻 地球環境学コース
グローバル COE プログラム「地球から地球たちへ」
筑波大学 生命環境系(生命環境科学研究科・地球科学)
東海大学 海洋学部
東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻
東京大学地盤内流体研究グループ
鳥取大学乾燥地研究センター
北海道大学 同位体顕微鏡システム
立正大学大学院地球環境科学研究科

学協会エリア展示

地球電磁気・地球惑星圏学会
特定非営利活動法人日本火山学会
日本鉱物科学会
日本古生物学会
日本地震学会
日本測地学会
日本地球化学会
一般社団法人日本地質学会

【 2012 年大会情報 】

2012 年大会参加者

■ 開催セッション数 : 177

(2011 年 174, 2010 年 167, 2009 年 134,
2008 年 135, 2007 年 134, 2006 年 109)

U: ユニオンセッション 7 (*2)

O: パブリック 4 (*0)

P: 宇宙惑星科学 26 (*13)

A: 大気海洋・環境科学 22 (*5)

H: 地球人間圏科学 20 (*8)

S: 固体地球科学 60 (*6)

B: 地球生命科学 10 (*2)

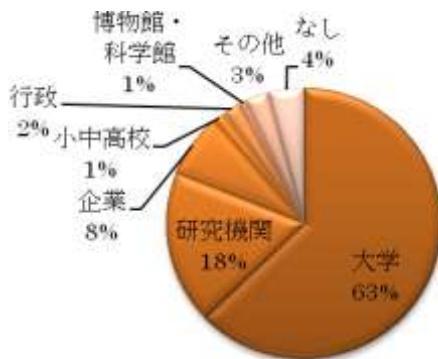
G: 地球惑星科学総合 5 (*0)

M: 学際・広領域 23 (*6)

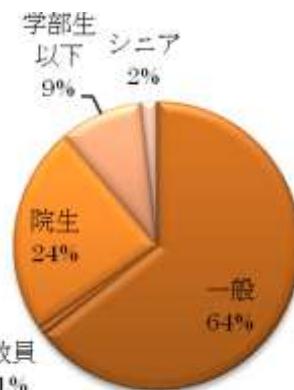
※(*) 国際セッション数

(合計 42 セッション ; 2011 年 41, 2010 年 32, 2009 年 9)

参加者 7318 名 (出展関係者 582 名除く)

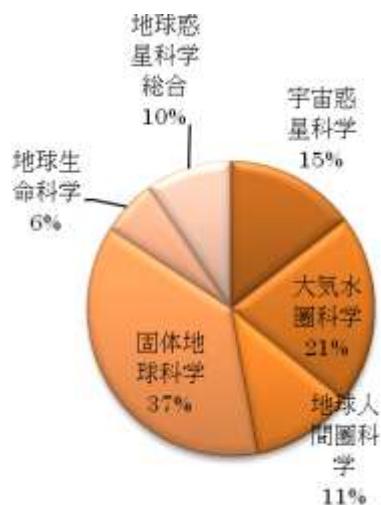


所属分類



身分分類

会員のみデータ



登録区分(会員のみ)

■ 論文投稿数 : 3876 件

(2011 年 4044 件, 2010 年 3686 件, 2009 年 3088 件,
2008 年 3218 件)

口頭発表 1975 件

(2011 年 2354 件, 2010 年 2090 件, 2009 年 1732 件,
2008 年 1766 件)

ポスター 1901 件

(2011 年 1690 件, 2010 年 1596 件, 2009 年 1356 件,
2008 年 1452 件)

■ 参加者数 : 7318 名

一般 3334 名 教員 43 名 院生 1217 名

学部生以下 482 名 シニア 95 名

アウトリーチ等 2147 名

(2011 年 5809 名, 2010 年 5746 名, 2009 年 4807 名,
2008 年 4862 名)

その他

・出展関係者入場者数 : 582 名

お問い合わせ・連絡先

公益社団法人日本地球惑星科学連合 事務局

〒113-0032

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル4階

TEL : 03-6914-2080 FAX : 03-6914-2088

Email: office@jggu.org

<http://www.jggu.org/meeting/>

